



平成22年11月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年7月6日

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 コード番号 6112 URL <http://www.kojimatekko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 正蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 田中 教司
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

TEL 027-322-1221

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第2四半期の業績(平成21年12月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第2四半期	1,693	16.3	63	△47.1	73	△44.8	45	△23.3
21年11月期第2四半期	1,456	—	120	—	133	—	59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第2四半期	4.54	—
21年11月期第2四半期	5.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第2四半期	2,617	1,225	46.8	122.36
21年11月期	3,766	1,255	33.3	125.35

(参考) 自己資本 22年11月期第2四半期 1,225百万円 21年11月期 1,255百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	—	—	7.50	7.50
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 21年11月期配当金の内訳 普通配当 5円00銭
 記念配当 2円50銭

3. 平成22年11月期の業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△11.6	270	△36.0	300	△33.9	165	△30.7	16.50

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年11月期第2四半期	10,035,647株	21年11月期	10,035,647株
② 期末自己株式数	22年11月期第2四半期	21,926株	21年11月期	21,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年11月期第2四半期	10,014,075株	21年11月期第2四半期	10,014,959株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当社売上高におきましては、当社の主製品である油圧プレスが、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たり金額もそれぞれ異なる個別受注生産であり、月単位での売上は一定しておりません。

当第2四半期累計期間の売上は、ブラジル他海外向け大型油圧プレス機を始め、国内向け油圧プレス機も加わり、僅かではありますが、売上総額では前年同期を上回る16億93百万円を計上することができました。

利益面につきましては、良質物件の売上計上や、引き続き原価低減に努めたことで、第1四半期において発生した開発製品に係る想定外の生産コストの負担増等の損失89百万円を取り戻すことができ、別掲の経常利益及び純利益を計上することができました。

尚、現在国内外から大型案件の引き合いが浮上しており、成約に向け努力しているところでございます。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の財政状態については、資産合計は、前事業年度末に比べ、11億48百万円減少し、26億17百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が5億19百万円及び仕掛品が6億12百万円各々減少したことによります。

負債合計は、前事業年度末に比べ、11億18百万円減少し、13億92百万円となりました。これは主として、短期借入金については69百万円及び賞与引当金については3千万円各々増加したものの、支払手形及び買掛金が2億85百万円、未払法人税等が1億16百万円及び前受金が8億21百万円減少したことによります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ、利益剰余金が29百万円減少し、12億25百万円となりました。

尚、自己資本比率は、前年同期(28.6%)に比べ、46.8%となり大幅な財務比率の改善が行われております。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年1月19日に公表した当第2四半期累計期間の業績予想については、平成22年6月30日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

尚、現時点での通期における業績予想につきましては、平成22年1月19日に公表した内容に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(3) 端数処理について

当社の四半期財務諸表に掲記される科目、その他の事項の記載金額については、当第1四半期会計期間より表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

なお、前事業年度及び前第2四半期累計期間については表示単位未満の端数を四捨五入して掲載しています。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,582	1,134,711
受取手形及び売掛金	501,380	1,021,022
原材料	7,674	13,265
仕掛品	11,619	623,931
その他	11,209	11,326
貸倒引当金	△4,300	△4,900
流動資産合計	1,620,166	2,799,355
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	348,402	359,137
その他(純額)	563,272	580,689
有形固定資産合計	911,675	939,826
無形固定資産	60,265	1,200
投資その他の資産	25,544	25,944
固定資産合計	997,485	966,970
資産合計	2,617,652	3,766,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	597,842	883,637
短期借入金	427,481	358,463
未払法人税等	39,521	156,360
前受金	17,199	838,219
賞与引当金	30,250	—
その他	56,491	102,360
流動負債合計	1,168,785	2,339,039
固定負債		
退職給付引当金	61,980	70,948
その他	161,601	101,033
固定負債合計	223,581	171,981
負債合計	1,392,367	2,511,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,782	501,782
資本剰余金	5,373	5,374
利益剰余金	720,430	750,101
自己株式	△3,588	△3,476
株主資本合計	1,223,998	1,253,781
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,286	1,524
評価・換算差額等合計	1,286	1,524
純資産合計	1,225,285	1,255,305
負債純資産合計	2,617,652	3,766,325

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
売上高	1,456,750	1,693,703
売上原価	1,179,865	1,510,504
売上総利益	276,885	183,199
販売費及び一般管理費	156,605	119,528
営業利益	120,280	63,670
営業外収益		
受取利息	3	8
受取賃貸料	31,176	31,176
その他	675	3,237
営業外収益合計	31,854	34,421
営業外費用		
支払利息	2,035	6,111
不動産賃貸費用	15,445	16,256
その他	885	1,937
営業外費用合計	18,365	24,304
経常利益	133,769	73,788
税引前四半期純利益	133,769	73,788
法人税等	61,000	28,349
過年度法人税等	13,521	—
法人税等合計	74,521	28,349
四半期純利益	59,248	45,438

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	900,015	1,035,421
売上原価	723,917	821,578
売上総利益	176,098	213,842
販売費及び一般管理費	85,016	55,617
営業利益	91,082	158,225
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	15,588	15,588
その他	521	1,653
営業外収益合計	16,109	17,241
営業外費用		
支払利息	1,286	1,508
不動産賃貸費用	7,753	9,118
その他	853	1,937
営業外費用合計	9,892	12,564
経常利益	97,299	162,901
税引前四半期純利益	97,299	162,901
法人税等	44,600	28,349
過年度法人税等	—	—
法人税等合計	44,600	28,349
四半期純利益	52,699	134,552

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。